

## 観光社会資本の事例

テーマ	昔の街並みを今に伝えて…
【施設の状況写真】	
	
〈中町通り〉 蔵などの建物の修景が進み、「蔵のある」まちとして、観光客の散策路となっている。	〈中町東緑地〉 市街地における緑地・広場の整備により、散策、回遊する人たちの憩いの場となっている。
【施設の利用写真】	
	
〈蔵の会館〉 近隣の酒蔵の建物を移築し、内部の見学が出来る集会所として再整備し、観光のスポットとなっている。	〈一ツ橋地区〉 旧松本市役所のデザインを踏襲した特定公共賃貸住宅は地区を回遊する人たちのランドマークとなっている。
【観光資源としての利用状況】	
松本市における街なみ環境整備事業は、街並みの整備を通じた住環境の改善のみではなく、商店の活性化等複合的効果を生み出しています。統一感のある中町地区の街並みは、中心市街地や松本城、縄手横町などをつなぐ回遊路として機能し、「蔵のある街」、「大正ロマン街」として新たな観光資源となっています。	

テーマ	昔の街並みを今に伝えて…
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 中町地区</p> <p>所在地 長野県松本市中町</p> <p>事業名 街なみ環境整備事業</p> <p>事業主体 松本市</p> <p>事業期間 平成元年～平成13年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>近年、松本駅の周辺地域においては、高齢化や人口の減少による地域の活力の低下や統一感のない建て替えなどにより、歴史的な街並みが失われつつあった。そこで、中町地区においては、街なみ環境整備事業を活用し、歴史的雰囲気のある街並みを残した「蔵のある」まちづくりを行った。同事業を活用し、現存する蔵の保存やその利活用、建物の修景助成、電線類の地中化、道路美化化などを実施し、統一感のある街並みを形成を推進することにより、人の回遊性が高まり、観光客が増加するなどの効果が見られている。</p> <p>また、現在は観光拠点である松本城との回遊性を一層高めるため、隣接するお城下町地区やお城東地区においても、地区にあったコンセプトを定め、街並み整備を進めることとしている。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 くるくるねっとまつもと <a href="http://www.city.matsumoto.nagano.jp/">http://www.city.matsumoto.nagano.jp/</a></p>	